

⑥ 一般検査サーベイ実施の手引

I. 概要と試料の取り扱い

1. 項目一覧

尿定性検査（尿蛋白・尿糖・尿潜血）2 試料、フォトサーベイ 6 題で実施します。

2. 試料一覧

試 料 番 号		61	62
試 料 内 容		凍 結 合 成 尿	凍 結 合 成 尿
検 査 項 目 (略 称)	容 量	4.5mL	4.5mL
尿蛋白（定性）		●	●
尿糖（定性）		●	●
尿潜血（定性）		●	●

3. フォトサーベイ（設問 6 題）

II. サーベイ実施方法及び注意事項

1. 参加項目設定とコード選択時の注意事項

参加項目設定で参加にチェックしてください。チェックがない項目は回答できません。
 測定方法・検量方法・測定試薬・測定機器の該当コード表は、回答入力画面の PDF ファイルを参照してください。また、該当コードがない場合は：その他”を選択してください。
 試料の測定値が記入されていても、解析に必要な設問に空欄があると評価が行えないので最後に必ず【一括入力チェック】を実施してください。

2. 尿定性検査

1) 試料の取り扱いについて

- ①溶解するまでは冷凍庫（可能なら－20℃以下のフリーザ）に保管してください。
- ②溶解後は 30 分以内に全項目の測定を終了してください。

2) 試料の溶解方法

①試料を室温に戻し完全に融解させ、十分に転倒混和を行って下さい。

3) 測定時の注意

①各項目の測定は日常検査で採用している方法で実施してください。

②試料の測定はできるだけ室温に近い温度で実施してください。

③試験紙を浸す際、試料を試験管などに移してから実施してください。

④用手法の場合、試験紙成分の試料への溶出を防ぐため、測定は 2～3 回以内としてください。

⑤分析装置の測定方法に従って実施してください。

⑥一度融解した試料は再凍結などによる保存はできません。融解、転倒混和後は直ちに測定を行ってください。

⑦後日測定する場合は、凍結保存し（-20℃以下） 1 週間以内に測定を終了して下さい。

4) 回答時の注意

①尿定性検査は「方法コード」から該当するコード No. を選択し回答してください。

②試薬メーカー欄には「定性試薬メーカーコード」から該当するメーカーのコード No. を選択し回答してください。

③測定装置コード欄には、「測定装置コード」から該当するコード No. を選択し回答してください。

④定性検査の目視法は、測定装置コード欄に「AAZ901」：用手法を選択してください。

3. フォトサーベイ

1) 各設問文をよく読み、各設問の写真に示した成分について回答してください。なお、尿沈渣については日臨技「尿沈渣検査法 2010」の分類基準に従って回答してください。

2) 回答記入について

①各設問について、選択肢の中から成分名のコード No. を 1 つ選んで回答してください。

②不参加の場合は、その欄を未記入にしてください。

方法コード表 尿定性

コード	尿蛋白定性	コード	尿糖定性	コード	尿潜血定性
23	目視判定(近似選択法)	23	目視判定(近似選択法)	23	目視判定(近似選択法)
24	目視判定(切り捨て法)	24	目視判定(切り捨て法)	24	目視判定(切り捨て法)
25	目視判定(切り上げ法)	25	目視判定(切り上げ法)	25	目視判定(切り上げ法)
77	機器判定	77	機器判定	77	機器判定
99	その他の方法	99	その他の方法	99	その他の方法

注 1) 用手法による目視判定の場合は、施設での判定方法に従い、コード 23 目視判定(近似選択法)、コード 24 目視判定(切り捨て法)、コード 25 目視判定(切り上げ法) を選択してください。

- ・近似選択法：試験紙の呈色により近い色調表の色枠を選択する方法
- ・切り捨て法：試験紙の呈色が色調表の色枠に達しない場合には切り捨て、濃度の低い色枠として判定する方法
- ・切り上げ法：試験紙の呈色が色調表の色枠よりも少しでも濃い場合には、濃度の高い色枠として判定する方法

※「尿試験紙検査法」 JCCLS 提案指針 [JCCLS-GP3-P1] より引用

尿定性試薬メーカーコード表

コード	試薬メーカー名(製造販売元)
031	栄研化学
063	アークレイファクトリー(旧：アークレイ)
095	合同酒精
104	東洋濾紙(販社：三和化学研究所)
117	シスメックス
184	テルモ
241	シーメンス HCD
266	東洋濾紙(販社：協和メデックス)
361	ロシュ・ダイアグノスティックス
371	和光純薬
401	バイエル薬品
999	その他

注 1) 日製産業のスーパーUA(スーパートロン)、ミディトロンは、試薬メーカーコード 117：シスメックスを選んでください。

注 2) ベーリンガー・マンハイムのウロトロンは、試薬メーカーコード 361 : ロシュ・ダイアグノスティックスとしてください。

注 3) 尿定性試薬メーカーコード 401 : バイエル薬品は商品名「ケトダイアスティックス」、「ダイアスティックス」をお使いの施設のみ選択してください。それ以外の旧バイエル・メディカル(現シーメンス HCD)製品をお使いの施設は、尿定性試薬メーカーコード 241 : シーメンス HCD を選択してください。

定性結果コード表

尿蛋白定性		尿糖定性		尿潜血定性	
コード	判定値	コード	判定値	コード	判定値
01	－(陰性)	01	－(陰性)	01	－(陰性)
12	15 mg/dL	14	50 mg/dL	42	0.03 mg/dL(約 10 個/ μ L)
13	30 mg/dL	16	100 mg/dL	43	0.06 mg/dL(約 20 個/ μ L)
16	100 mg/dL	18	250 mg/dL	45	0.15 mg/dL(約 50 個/ μ L)
19	300 mg/dL	20	500 mg/dL	48	0.75 mg/dL(約 250 個/ μ L)
20	500 mg/dL	21	1000 mg/dL		
21	1000 mg/dL				

注 1) シーメンス HCD の試験紙において尿潜血検査はヘモグロビン濃度を併記していません。従って、(±)は尿潜血定性コード 42 : 0.03 mg/dL(約 10 個/ μ L)、(1+)は尿潜血定性コード 43 : 0.06 mg/dL (約 20 個/ μ L)、(2+)は尿潜血定性コード 45 : 0.15 mg/dL(約 50 個/ μ L)、(3+)は尿潜血定性コード 48 : 0.75 mg/dL(約 250 個/ μ L)を選択してください。

注 2) シスメックスのコリシス 2400、スーパーUA(スーパートロン)、ミディトロンは尿糖検査の測定結果 300 mg/dL を尿糖定性コード 18 : 250 mg/dL としてください。尿潜血結果の測定結果 25 個/ μ L および 20 個/ μ L を尿潜血定性コード 43 : 0.06 mg/dL(約 20 個/ μ L)、150 個/ μ L を尿潜血定性コード 45 : 0.15 mg/dL(約 50 個/ μ L)としてください。

注 3) アークレイファクトリー(旧アークレイ) ご使用施設は下表をご覧ください。

【尿蛋白定性】

測定結果を以下の中から一番近いものを選択してください。

「－(陰性)」・「15mg/dL」・「30mg/dL」・「100mg/dL」・「300mg/dL」・「500mg/dL」・「1000mg/dL」

半定量 ランク	－	±			1+			2+		3+		4+	
濃度値 (mg/dL)		10	15*	20	30	50	70	100	200	300	600	1000*	OVER
選択肢 (mg/dL)	－	15		30			100			300	500	1000	

*濃度値 15mg/dL および 1000mg/dL は PU-4010、PU-4210 にのみ設定されている値です。

【尿糖定性】

測定結果を下記の中から一番近いものを選択してください。

「－(陰性)」・「50mg/dL」・「100mg/dL」・「250mg/dL」・「500mg/dL」・「1000mg/dL」

半定量 ランク	－	±		1+		2+		3+		4+	
濃度値 (mg/dL)		30	50	70	100	150	200	300	500	1000	OVER
選択肢 (mg/dL)	－	50		100			250		500	1000	

【尿潜血定性】

測定結果を下記の中から一番近いものを選択してください。

「－(陰性)」・「0.03mg/dL(約 10個/μL)」・「0.06mg/dL(約 20個/μL)」・「0.15mg/dL(約 50個/μL)」・
「0.75mg/dL(約 250個/μL)」

半定量 ランク	－	±	1+		2+		3+	
濃度値 (mg/dL)		0.03	0.06	0.10	0.20	0.50	1.00	OVER
選択肢 (mg/dL)	－	0.03	0.06	0.15		0.75		

注 4) 定性検査で目視法の場合は、測定装置コード欄に「AAZ901」： 用手法を選択してください。

Ⅲ. フォトサーベイ設問

設問 1 ～ 6 は、写真を見てそれぞれ最も適当と思われるものを選択肢より選んで下さい。

【設問 1】

症例：88 歳 女性

検体：自然尿

検査所見：PH5.5 蛋白（±）、糖（－）、潜血（－）

（写真 1A） 無染色 （写真 1B） S 染色

1. 白血球
2. 顆粒円柱
3. 尿路上皮細胞
4. 尿細管上皮細胞
5. 細胞質内封入体細胞

【設問 2】

症例：80 歳 男性

検体：自然尿（前立腺生検後）

検査所見：PH6.5 蛋白（＋）、糖（±）、潜血（3＋）

（写真 2） 無染色

1. 真菌
2. 非糸球体赤血球
3. 糸球体赤血球
4. シュウ酸カルシウム結晶
5. マルベリー小体

【設問 3】

症例：71 歳 男性

検体：自然尿

検査所見：PH5.5 蛋白（±）、糖（－）、潜血（3＋）

写真 3B：PH6.5 蛋白（1＋）、糖（－）、潜血（3＋）

（写真 3A） S 染色 （写真 3B） S 染色

1. 尿路上皮細胞
2. 扁平上皮細胞
3. 異型細胞
4. 尿細管上皮細胞
5. 大食細胞

【設問 4】

症例：55 歳 男性

検体：自然尿

検査所見：PH5.0 蛋白 (2+)、糖 (4+)、潜血 (－)

(写真 4) S 染色

1. 粘糸 2. 硝子円柱 3. ろう様円柱 4. フィブリン円柱 5. 顆粒円柱

【設問 5】

症例：90 歳 男性

検体：自然尿

検査所見：PH5.5 蛋白 (－)、糖 (－)、潜血 (3+)

(写真 5) 無染色

1. 2,8-ジヒドロキシアデニン結晶 2. 尿酸結晶 3. リン酸アンモニウム Mg 結晶
4. 酸性尿酸アンモニウム結晶 5. ビリルビン結晶

【設問 6】

症例：69 歳 男性

検体：関節液

検査所見：細胞数 9750/ μ L 粘稠度 弱

(写真 6A) 無染色 + 鋭敏色偏光顕微鏡像 ※矢印は Z (γ) 軸の向きを示す

(写真 6B) ギムザ染色

1. 尿酸ナトリウム結晶 2. ピロリン酸カルシウム結晶 3. ビリルビン結晶
4. コレステロール結晶 5. リン酸カルシウム結晶

IV. 問い合わせ先

一般検査精度管理調査に関する不明な点、疑問点等についての問い合わせは、施設コード、施設名、担当者を明記のうえ E-mail で下記の担当者へお願いいたします。

【一般検査担当】

岩崎 信子

大分記念病院 臨床検査科

E-mail: oamt.ippan1@gmail.com